

令和5年度 福島県 女性活躍・働き方改革促進事業  
働き方改革モデルづくり



有限会社ゼスト

---

# 会社概要

社名	有限会社ゼスト
所在地	福島県本宮市荒井字青田原209-2
設立	平成16年11月5日
従業員数	男性 21人 女性 7人
業務内容	一般貨物運送事業、貨物自動車利用運送事業、倉庫業
経営理念	常に笑顔で、社員のやりがいとお客様の満足、社会貢献を目的とし、興味を持って、熱心に取り組みみんな喜びを分かち合う



# 取り組みのきっかけと目標

---

1. 和やかな雰囲気職場でコミュニケーションは良好であるが、職種や担当によっては業務の偏りが発生していることで不満を感じるがあった。
2. 業務スキルレベルで作業効率に差が出ていたため、業務の平準化に課題を感じていた。

以上のことから、2つの目標に向けて取り組みをスタート

部署間を超えた情報共有を図り  
業務の「誰でもできる化」を図る

スキルアップで自信が持てるようになり  
お客様に笑顔を届けるプロ集団になる

# 取り組み内容

1. 全社員対象の働き方改革セミナーを開催。運送業は特殊な業界であるが、「なぜ働き方改革が必要なのか」「男性育休の本質とは何か」等、社会背景と事例を学んで共通認識を持つことからスタート。
2. その後のカエル会議では、事務方とドライバーの混合メンバーでそれぞれが思う「会社の良いところ」「改善したいところ」を出し合い、理想とする「ありたい姿」を作成。
3. 内勤者と外勤者では担当する業務が大きく異なることからお互いの状況が見えにくいため、報告・連絡・相談のタイミングについて検討。

付箋紙を使ったミーティングでは誰かの意見だけに偏ることなく、全員の意見が見える化されることを実感しました！

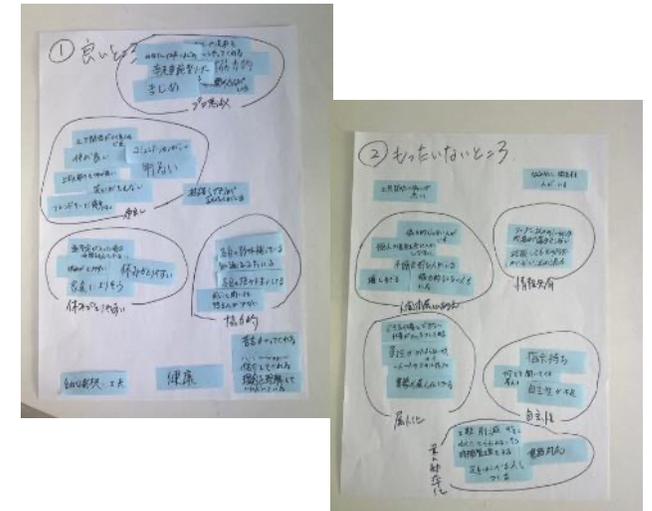


◦ 社内勉強会の時間を作り、みんながスキルアップし自信をもてるようになる。  
◦ みんなで協力して仕事の誰でも出来る化をはかりその結果、自分の時間によゆうがうまれ、プライベートやゆみが充実することでお客様に笑顔をお届けする物流のプロ集団になる。

作成した「ありたい姿」

# 取り組み成果

1. 事務方とドライバーそれぞれの役割を理解することで相互理解が進んできた。担当制とバッファ体制について、メンバー間の理解に偏りがあるため、今後は情報共有を強化しワンチームとしての業務遂行を次の目標とした。
2. これまでも行われてきた社内研修の時間を活用して、今後は個人がスキルアップできる内容へとブラッシュアップを図った。
3. カエル会議では常に心理的安全性が守られていたので言いにくかったことなども発言しやすく、実は思い込みや誤解があったことも判明し、これまで以上に風通しの良い雰囲気へと変化した。



# 取り組みから感じたこと

## メンバーの感想

今までは思っている自信がなくて発言を控えていたことがありましたが、付箋紙を使ったカエル会議では自分の意見が出しやすく、他の人からも同じような意見が出ることもあり、会議での発言に自信がもてるようになりました。これまで感じていた疑問や違和感も可視化されたことで、情報共有や業務連携がしやすくなったと感じています。これからもこういった取り組みを続けていきたいと思えます。

## 事務局から

各部署から選抜したスタッフで取り組みましたが、想定以上に活発な意見交換となりました。出た意見に対し反論するのではなく、互いの立場を理解し尊重し合う会議へと変わったのが大きな成果と感じます。メンバー一人ひとりの考えを知ることができ、また個人の得意分野を再発見できたことがとても良かったです。今回の取り組みを通して改めてコミュニケーションの取り方、対話の大切さを実感することができました。

## 今後に向けて

これまでは社長が中心となり課題解決に向けての指揮をとってきましたが、この取り組みを経て、従業員が主体的に課題解決に向けて意見を出し合い解決に向かう姿を見て、今後の会社の可能性を感じました。定期的に実践し課題解決に向けた取り組みをしたいと思えます。とても良い取り組みでした。